

ポストコロナ社会へ SDGs で次世代につなぐ



2021年度 会員募集のご案内

2021年度 「地エネと環境の地域デザイン」について

コロナ禍と温暖化に直面する社会。自然エネルギーによる立て直しへ

新型コロナ禍と地球温暖化という二つの難題に直面する社会を自然エネルギーで立て直そうという、グリーンリカバリー（緑の回復）の動きが世界で加速しています。これは、多発する新型感染症は開発による自然破壊で野生動物と人との接触が増えたことが原因とされ、さらに温暖化によってシベリアなどの永久凍土が溶けて未知の感染症が出現することが予測されていることが背景にあります。破滅的な事態を回避するために、二つの危機の構造的要因である化石燃料に頼る大量生産・都市集中型の社会を根本から見直し、自然エネルギー主体の分散型社会を目指す世界の潮流はさらに強まると思います。

こうした時代の動きを別の言葉で表すなら、「地下資源」から「地上資源」へのエネルギー転換と言えるでしょう。何億年もかけて地球に蓄積された石油などの地下資源を一気に使い尽くすかのような工業文明は大量生産やスピード化を実現した一方、無秩序な開発とエネルギー消費によって、長く続いてきた自然と人の共生関係を壊し、生態系のしっぺ返しを招いています。

求められるのは、太陽光とそのエネルギーが生む水力、風力、森林や農作物などのバイオマスという地球表面の自然資本の循環を基本に、最新のエネルギー技術を駆使して、自然と調和したポストコロナの社会と経済を作り直すということです。

2021年度 「地エネと環境の地域デザイン」について

ポストコロナの地域を、地エネで描くSDGsプラットフォーム

「地エネと環境の地域デザイン」事業は、エネルギーと環境の視点から地域や経営の課題や次代のデザインを考えることを主眼に、2018年にスタートしました。

自然と人との接点である「農と食」のごみから資源循環のデザインを考えるバイオガス関連事業をはじめ、森林のエネルギー利用による再生、発電と農業を両立するソーラーシェアリング、小水力発電などをテーマに、シンポジウムや地エネツアーを実施。さらに資源循環による持続可能な「ものづくり」の形を分かりやすく伝え、新たな価値を世界に発信することを目的とした有志による「地エネの酒」づくりなども進めています。

グリーンリカバリーの鍵をにぎるSDGs（持続可能な開発目標）の地域化が大きな課題となる中、「サステイナブル」という時代のキーワードで世界とつながる地域デザインを描くための「場」を育んでいくことはますます重要になると思います。

気候危機に伴う自然災害への防災力や大量生産・廃棄社会のごみ問題を解決する力を高めるためにも、自然エネルギーを生かした地域づくり戦略は欠かせません。

こうした時代状況を背景に、エネルギー、環境、防災など幅広い視点から持続可能なポストコロナの地域を考える地域SDGsプラットフォームとしての役割を果たしていきたいと考えております。趣旨にご賛同いただける会員を募集しています。

協議会参画特典

情報収集

ひょうごの地エネの今とこれからの地域づくりがわかる
「メールマガジン」と「地エネたいむ」をお届けします！

神戸新聞社編集委員であり本協議会のコーディネーターである辻本一好監修による、兵庫県内の地エネに関わる情報のつまったメールマガジンと、神戸新聞社編集委員辻本一好による地エネに関する書き下ろしコラムをお届けいたします。

ネットワークづくり

協議会メンバーとの交流・情報発信をとおしてネットワークづくり

協議会は年3回程度予定しており、著名人による講演会やシンポジウム、ワークショップ、懇親会等を取り入れたものを予定しています。

分科会活動支援

メンバー有志によるテーマごとの分科会活動への参加

主に自然エネルギーや環境にまつわるテーマを取り上げ、有志で分科会を結成することが可能です。事業検討、事業計画の策定、事業実施までを事務局がサポートいたします。

広報

神戸新聞社グループによる広報の活用

協議会活動が神戸新聞朝刊誌面や神戸新聞オンライン版である神戸新聞NEXTにて展開されます。協議会ホームページにて、法人会員様の紹介を掲載いたします。

会費

企業・団体様 3,3000円（税込）

※2021年度より個人会員制度を辞めリニューアルを致します。個人の方向けコンテンツは次ページをご参照ください。

地エネと環境の地域デザイン協議会

(企業、団体、教育機関、行政機関等で構成) 会員：法人・団体29社 (2021年2月現在)

総会 (会長、副会長、理事、監事)

意思決定、承認

- 会長 谷 正典 (神戸新聞社)
副会長 弓削 忠生 (NPO法人都市型農業を考える会)
- 理事 兵庫六甲農業協同組合、兵庫県信用農業協同組合連合会、
神戸大学、生活協同組合コープこうべ、兵庫県、神戸市、
シン・エナジー株式会社
- 監事 神戸新聞事業社

事務局 (神戸新聞社メディアビジネス局)

協議会運営

- 企画案、予算案作成
PR事業の実施
各種調整など

分科会

- ・北摂里山地域循環共生圏
- ・日本酒分科会
- ・小水力発電分科会

2021年度より、会員制度がリニューアルします。

・企業・団体会員様

これまでと同様に、1年単位でご入会いただけます。

・個人会員様 (2021年度より個人会員はなくなります)

これまでお届けしていたメルマガやイベント案内等を、地エネと環境の地域デザイン協議会のnoteのサイトにて、ご覧いただけます。(有料記事、無料記事あり)



地エネ協議会noteサイト
<https://note.com/chiene>

これまでの活動（2019～2020年度）



2020年	8月	<p>講演会</p> <p>オンライン開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ポストコロナ時代の持続可能な社会とは SDGs の観点から考える自然エネルギーのこれから」 末吉 竹二郎氏（国際金融アナリスト） ・会員報告会 鬼澤 康弘氏（コープこうべ 環境推進 統括） 猪島 嗣公氏（JA兵庫六甲 神戸営農統括 マネージャー） コーディネーター 辻本 一好氏（神戸新聞社編集委員／地エネ協議会日本酒分科会） ・交流会 	
	10月	<p>シンポジウム</p> <p>主催 生活クラブ生活協同組合都市生活・住吉川小水力発電所を実現する会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「水車がつなぐ歴史とエネルギー」 道谷 卓氏（姫路独協大学副学長、神戸深江生活文化史料館副館長） ・会員活動報告 住吉川小水力発電所を実現する会 ・パネルディスカッション 菅 範昭さん（兵庫県環境管理局長） 安福 武之助さん（㈱神戸酒心館・代表取締役社長） 嘉納 健二さん（白鶴酒造㈱・代表取締役社長） 塚本 昭光さん（兵庫県勤労者山岳連盟・自然保護委員長） 林 まやさん（地域住民・生活クラブ生協組合員） コーディネーター 辻本 一好氏（神戸新聞社編集委員／地エネ協議会日本酒分科会） 	
	3月	<p>シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム（コロナウイルス感染拡大の影響を受け、延期計画中。） 	
2019年	7月	<p>講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「持続可能なエネルギー社会づくり」 認定NPO法人環境エネルギー政策研究所所長 飯田 哲也氏 ・パネルディスカッション 宝塚すみれ発電代表 井上 保子氏 / 認定NPO法人環境エネルギー政策研究所所長 飯田 哲也氏 ・交流会 	
	11月	<p>講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エネルギーシフト」 （株）バイオマスアグリゲーション 久木 裕氏 ・分科会報告 北摂里山地域循環共生圏： IGES関西研究センター 前田 利蔵氏 木質バイオマス： 正垣木材株式会社 岡村 勝弘氏 / NPO法人都市型農業を考える会 中西 重喜氏 ・交流会 	
	3月	<p>シンポジウム</p> <p>兵庫県「農」のゼロエミッション推進大会と共催で実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送りました。</p>	

お問い合わせ先

地エネと環境の地域デザイン協議会

神戸新聞社 メディアビジネス局イノベーション・パートナー部

担当：阿部・三宅

神戸新聞事業社

担当：土倉・儀三武

【 事務局 】 電話：078-360-0560
FAX：078-362-7363
メール：chiene@kobe-j.co.jp